

連絡先：自動車局 審査・リコール課
 リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線 42354
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成 29 年 9 月 15 日

リコール届出番号	4 1 1 0	リコール開始日	平成 29 年 9 月 15 日
届出者の氏名又は名称	株式会社 タダノ 取締役社長 多田野 宏一 問い合わせ先：品質安全部 TEL (087) 894-7550		
不具合の部位（部品名）	原動機(ターボチャージャ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	ホイール・クレーンの原動機において、エンジン制御のプログラムの設定が不適切なため、繰り返しエンジン高回転・高負荷域から減速操作を行うと、ターボチャージャのスラストベアリングに高い負荷が発生しスラストベアリングおよびスラストリングに摩耗を生じることがある。そのため、ターボチャージャのシャフトにガタつきが生じ、そのままの状態で使用を続けると、ターボチャージャのシールリングが損傷してエンジンオイルが漏れ出し、当該オイルがエンジン内部、排気系に入り込み、白煙、異音、エンジン回転数の上昇等の不具合が発生し、最悪の場合、エンジンが破損するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、エンジン制御プログラムを対策品に書き換える。 また、インタークーラ及びターボチャージャ内部にエンジンオイルの漏れが確認された場合は、エンジン、吸気系、排気系の装置を点検し、損傷部品の交換を行なう。		
不具合件数	8 件	事故の有無	0 件
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：直接電話またはダイレクトメール等により連絡する。 ・自動車分解整備事業者：使用者を把握しており、周知の為の措置はとらない。 ・改善実施済車には、ステッカ(No, 4 1 1 0)を運転席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に貼り付ける。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
タダノ	UDS-T007	「GR-250N-3」	T007-0003 ～ T007-1630 平成25年5月29日～平成29年1月5日	1622 台	
	(計 1 型式)	(計 1 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成25年5月29日～平成29年1月5日	(計 1622 台)	

備考) 本件は、平成 28 年 1 月 26 日付け、届出番号「3734」にてリコール届出を行ったものですが、新たな原因が判明したため、対象台数を拡大し、新たに届出するものです。

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。